

宣言案

今や祖國日本は偉大なる世界歴史の懸崖に直面しつゝ、人類新文化創造の聖戦に孤軍奮闘しつゝある。
内外の物情騒然の極に至り、將に白虹乾坤を貫きて異様の先芒燦として天下の禍機近くの觀ありと雖も、是即ち對内對外的過去一切の矛盾撞着より孵化甦生し、もつて、三千年の理想、大陽の大信條、實現の光榮ある陣痛的苦悶に喘ぎつゝあるに外ならないのである。

即ち、光輝ある昭和維新の前夜、夜嵐の時である。吾人此の時局に直面し、祖國の理想に感奮興起、國家の使命に忠ならんを希ふもの、冲々烈々愛國の赤誠を致して、内、政治經濟多年の積弊を寸裂焼却し、外、一切の國際的不正不義を切破し、もつて、祖國の將來を開拓するに一步の退轉一点の過誤だに無きを期せざるべからざるの時である。此の時海軍々縮條約改訂の日を目捷の間に過去の屈辱は、眞個世界平和なるが故に憤爆すべき將來への犠牲である。彌陀の利劍は大乗なるが故に振はるべき道義の力である。祖國よ、祖國の光榮は、その世界的理想の信念に於て、斷じて過去の過誤を復讐せざらん事を希望するものである。

特に、此の時海軍艦隊派將士の廢棄通告即時斷行の絶叫するあり、誠に國防の重責を負ひ、國家百年の大計に誇負する魂の叫びと云ふべきである。斷じて行へば鬼神と雖も之を避く、滿洲事變の輝かしき成功たるや一にもつて、國內的腐敗權力の制肘を無視せし關東軍將士の猪突暴進的祖國愛の結果たりしの事實を見よ!!

大日本護國軍は此處に西日本國民大會を開催、全九州の輿論を体し、内昭和維新の達成に邁進すると共に、外海軍艦隊派將士諸公へ全面的聲援を送り、もつて屈辱的不平等條約の即時廢棄斷行へ直進せん事を滿天下に宣言する、

敢て云ふ、その時機の何れたるを問ふべからず。正義なればなり

右宣言す。

皇紀二千五百九十四年九月

大日本護國軍
西部日本國民大會

決議案

- 一、政治、經濟、軍備の一元化に依る完全國防の實現を期すべし
- 一、ワシントン條約の廢棄通告を即時斷行すべし
- 一、國民經濟を確保し、速かに内的改革を斷行すべし

右決議す。

皇紀二千五百九十四年九月

大日本護國軍
西部日本國民大會